

私たちの旅

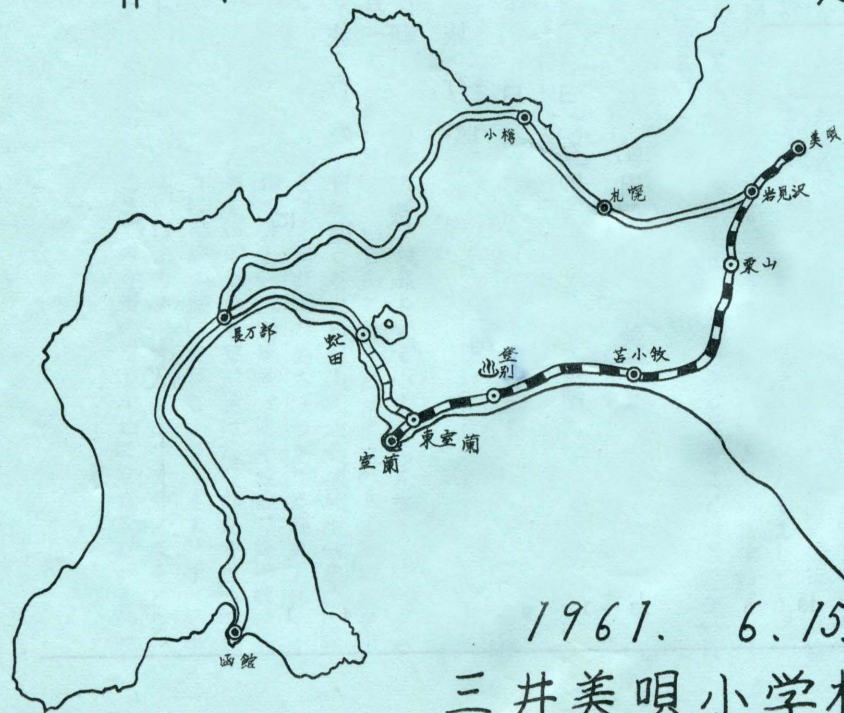
1961

6. 15. 16

17. 18. 19. 20



私たちに旅



1961. 6. 15. ~ 20

三井美唄小学校

目

次

○ はじめに……………	1
○ 旅行の日程……………	4
○ 班の編成……………	6
○ 旅行の注意……………	7
○ 第一日 南美唄より <small>登別</small> 湖温泉へ……………	9
○ 第二日 登別温泉より洞爺湖まで……………	19
○ 第三日 虻田駅から南美唄まで……………	23
<hr/>	
○ 旅行の道順……………	5
○ 室蘭港……………	13
○ 登別温泉案内図……………	17
○ 登別地獄谷……………	18
○ 洞爺湖温泉展望図……………	21

は　じ　め　に

社会科見学旅行にいいよ出發します。

私達の胸は喜びと希望に満ちはちきれんばかりです。

学校生活の数ある想い出の中で、いつまでも楽しい想い出として残る社会見学旅行に出發するに先だつて、まず、たくさんのお金を使つて私たちをこの旅行に参加させて下さるお家の人に、心から感謝をいたしましたよう。

修学旅行は一人一人の旅行とちがつて六年生全部がそろつて出かけるのです。勝手な行動は許されません。一人一人の集まりが社会だということをおぼえていますね。このことをよく考へて正しい協同生活が出来るように、この旅行中は特に注意いたしましたよう。

「百聞は一見にしかず」ということばをおぼえていますね。ふだん私たちの見ている社会から出て別の社会を見ることは又とない良い勉強になるのです。

実際にこの目で見、この耳で聞き、この手でさわるることによつて、ふだん教室で学習したことがらがしつかり身につく事になります。又、今まで知らなかつた新しい知識や、これからの勉強の手がかりがたくさん得られることでしよう。

先生方が用意して下さつた資料を参考にして旅行のための学習計画を立ててみましょう。

○ 先ず車窓からうつりゆく風景をのぞいてごらん下さい。植えつけを終つた田畑が続いているかと思つたサイロのある牧場風景が見えてきます。苦小牧が近くなると火山灰地や湿地が地平線につづいています。噴煙をはく樽前山の姿もはつきりと眺められます。製紙工場の煙、内浦湾の貧しい漁村風景、海岸段丘、海岸線、太平洋、湖と調和した美しい洞爺の展望、焼けただれた奇岩の有珠岳などまわり絵のように私達の眼にとびこんできます。すべて学習の材料にならないものはありません。スケツチやメモをとり、これからの勉強やいままでの学習のたしかめに役立てたいもので

す。

○ それぞれの目的地はみな観光地といわれるところですが。

理科で勉強した火山、温泉等、学習したことがらがよみがえつてきます。実地にたしかめてみる機会が出来たのです。昭和新山に登り火山の実感を味わいましょう。噴煙、噴出物、火口、火山のでき方などが昭和新山に登り、有珠岳、羊蹄山をながめながらたしかめられます。カルデラ湖、温泉も目で見、身をもつて経験しはじめて旅行の意義があるのです。

湖上を遊覧船でめぐり、中島で森林博物館にも入ります。絵に書いた箱庭のような美しい風景とこの印象はきれいな絵となり詩となり、又作文ともなることでしよう。

温泉に入ることが始めての人もあります。尊い経験です。いろいろな感想もつけくわえてメモしておきましょう。

○ 天然の良港室蘭の港灣見学も又とない勉強です。外国船も見えます。大きなクレーンや埠頭も見えます。工業港室蘭は、これからどんどん発展する工業都市です。その理由は？ 港灣施設は？

○ 水族館へ行つて魚の生態を観察しましょう。

初めて見る熱帯魚、見たこともない海の動物の標本などすべてを忘れて水そうに見いることでしよう。

かれない、たこ、いかの泳ぎ方もよく見てください。観察したこと、気のついたことや、疑問などをメモしましょう。

海岸の生物を実際に磯浜へ行つて採取してみることも楽しい学習の一つです。

○ 登別温泉では

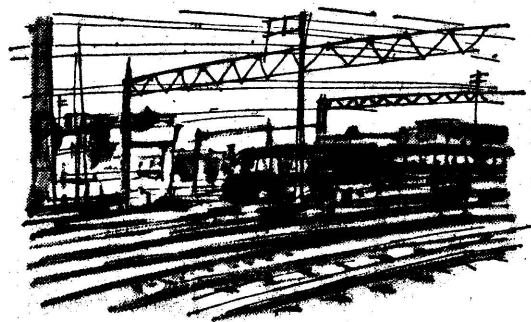
同じ温泉でも泉質のちがうこと、種類の多いこと、噴火口であり湯元である地獄谷など洞爺とは又別な学習の材料がたくさんあります。大湯沼へのハイキングも楽しいことです。時間があればク

ツタラ湖にも行つてみたいものです。

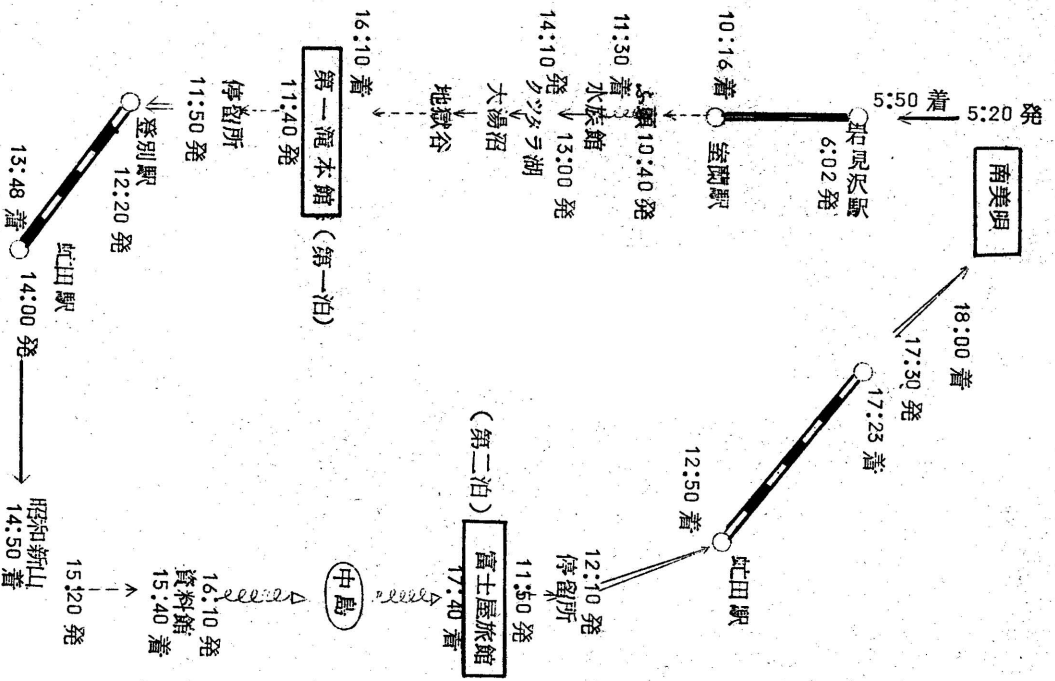
○ 私達の郷土北海道は若々しく躍進しています。

北海道開拓の歴史をふりかえりその発展ぶりに驚くばかりです。日本の資源の宝庫としてまだまだ開発されなければならぬ点が多く残されています。これらの問題も旅行を機会に深く調べてみたらよい勉強になりますね。

旅行が終つたら記録したものを整理し、発表会や研究会を開いてこれからの勉強に生かし、小学校の最後の勉強をしっかりとやらなければなりません。



第 3 日	第 2 日	第 1 日	日
富士屋 旅留所 蛇田駅 岩見沢 駅	昭和新山 昭和新山 登別駅 蛇田駅 資前料 館	集 合 出 庭 岩 見 沢 發 見 沢 中 央 埠 頭 水 族 館	發 三 四 〇
一、一五〇 一、二一〇 一、三〇四 一、七三〇	一、一四〇 一、一五〇 一、二二〇 一、四〇〇 一、五二〇 一、六一〇	一、二〇〇 一、四〇〇 六〇二 五二〇 四〇〇	
停留所 蛇田駅 岩見沢 南美唄 駅	昭和新山 昭和新山 登別駅 蛇田駅 資前料 館	岩見沢 室蘭駅 水族館 登別 温 泉 第一 館	着 五五〇 〇一六 一、三三〇 一、六〇五 六、一〇〇
二、二〇五 二、二五〇 一、七二三 一、八〇〇	一、一五〇 一、二一五 一、三〇八 一、四五〇 一、五四〇 一、七四〇	五五〇 〇一六 一、三三〇 一、六〇五 六、一〇〇	
起床 徒歩 朝食 七、〇〇 朝食	徒歩、資料館見学 遊覧船、中島上陸 夕食、入浴、市街見学	バス 汽車 朝食 遊覧船、港灣見学 夕食、入浴、市街見物	備 考 六、三〇 朝食
バス、五丁目まで 汽車、屋食	徒歩、資料館見学 遊覧船、中島上陸 夕食、入浴、市街見学	バス 汽車 朝食 遊覧船、港灣見学 夕食、入浴、市街見物	備 考 六、三〇 朝食



班編成

全体の責任者 牧岡八郎長

班	月	日	学級	担任の先生	附添の先生
第一班	六月	十七	八	中新田秀行	三宮ミキ子
		十六	九	遠藤忠雄	白崎栄子
		十五	五	山崎香	工藤豊彦
第二班	六月	十八	十一	村木由松	大橋チエ子
		十七	四	宮川淳	上本貞子
		十六	三	紫原実	山田啓子
第三班	六月	十九	十	荻原	山田啓子
		十八	七	近江	樺沢智子
		十七	六	泉正	越智喜久雄
第四班	六月	二十	二	泉正勝	高山哲朗
		十九	一	田正勝	高山哲朗
		十八			
看護婦さん					

○ 持物について

※用意するもの

- ・食事二食分、一日目の朝（車中）と昼（水族館）に食べる。
- 水筒（びんでもよい）
- ハンカチ、●チリ紙、●ふろしき（ビニール）
- 洗面具 ●タオル、●石けん、●歯みがき粉 ●歯ブラシ、その他）
- 薬品類
- ねまきはふだん使っているものを持つて行くこと。
- 修学旅行のしおり、●筆記用具
- くずを入れる袋 ●物干しばさみ
- ・持物には必ず名前をつけておくこと。（特に帽子と上衣、リツク、水筒など）
- ・持物はリツクに入れて背負いましょう。手で持つケースやバツク類は、皆さん方は疲れて不適當です。

・おこづかいはいは三〇〇円をしつかり守りましょう。

以内

◎ 旅行の注意

- ・団体旅行ですから規律を重んじ、先生や友達に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・旅費だけでも大きな費用です。むだごとに使わず、おこづかいはよく考えて使いましょう。
- ・列から離れぬこと。危険な場所には立寄りぬこと。用があつて離れる時は、必ず先生の許可を得てからにすること。
- ・旅行の途中の病気や事故は、かくさず、すぐ先生に知らせて下さい。

- ・服装は清潔であればよい。ふだんのままでよい。
- ・靴は、はきなれて、靴ずれのしないものがよい。

○ バス

- 一、乗り降りには先生のさしず通りにしましょう。われさきにと、乱暴な乗り降りをしたり、おしあいをするのは、思わぬけがのもとになります。
- 二、座席はゆずりあつてすわりましょう。自分一人で広く座席をとつたりしてはいけません。
- 三、窓から手を出したり、顔を出してはいけません。走っているバスの窓から顔を出して電信柱にぶつかり大けがをした人があります。
- 四、持物はひざに置くか、網棚の上にあげること。網棚の荷物は、落ちないようにしつかりあげておくこと。
- 五、窓は少しあけて風通しをよくしましょう。
- 六、他人の迷惑になりますから、大声でわめかないこと。
- 七、バスの動きやゆれ方ばかりを気にしていると酔い易い。友達と愉快に話をしたりして気をまぎらわせるとよい。
- 八、酔つたら遠慮せずに先生に知らせること。

○ 汽 車

汽車の窓からは、いろいろお勉強になるものが見えます。メモやスケッチをしましょう。

一、座席はきめられた通りにすわること。勝手にかえてはいけません。

二、荷物は網棚にあげることに。

三、窓は細目にあけておくとよい。

四、トンネルでは窓をしめましょう。

五、汽車の窓から手を出したり顔を出したりしないこと。

六、窓から帽子を飛ばしたりなどせぬように注意しましょう。

七、窓から物を投げてはいけません。紙などを飛ばす事もやめましょう。

八、車内はよごさぬように。くず入れの袋を用意して、くずはその中に入れてみましょう。

九、車内を走りまわつたりしないこと。

十、汽車のとびらを勝手に開けて出入口に行かないこと。

○ 観 光 船

めつたに船に乗る機会はありません。楽しく乗つてきましょう。船の中でわめいたり、さわぎまわつたりしないこと。

○ 旅 館

一、自分の家と同じ気持で過ごせるように、いろいろなきまりや注意を守りましょう。

二、特に宿の建物をよごしたり、器物をいためたりせぬようにしましょう。

三、部屋にはリュック、帽子、靴などきちんと整頓して置きましょう。

四、貴重品、お金などはからだから離さぬように注意しましょう。

五、他の部屋には無断で入らぬこと。宿の人や泊っている他の人に迷惑にならぬようにしましょう。

六、入浴はきめられた時間通りに入りましょう。

七、無断で旅館から出て、買物や見物に出かけてはいけません。

第一日 南美唄より登別温泉へ

※ 南美唄 バスで岩見沢へ

※ 美唄

※ 光珠内

※ 峰延

※ 岩見沢

(いわみさわ) 明治十一年開拓使が幌内へ行く道路の距離の測量をさせた際に、役人達がここで初めて湯に入りつかれをなおしたので「湯あみ沢」といつたのが地名のおこりです。

空知の平野の中心となる都市で、人口五万八千人、空知支庁があります。この近くの農産物は、多くここに集められて、各地に送られます。

特産物として、米・大根・玉ねぎ、清酒、火薬などがあります。

また、鉄道を中心(函館本線・室蘭線・万字線・幾春別線)でもあり、駅の構内の大きさは、北海道一といわれています。ここで私たちは、室蘭線の列車に乗り、今日の目的地洞爺湖温泉にむかうのです。

志 文

(しぶん)

アイヌ語「シユナンベツ」(ウゲイのたくさんいる川)がもとになつて、この地名ができたといわれています。

栗 沢

(くりさわ)

栗 丘

(くりおか)

栗 山

(くりやま) むかし、栗の木がたくさんあつたので、栗山という地名にしたのです。清酒・ヒューム管・米雑こく・砂利・亜麻茎などを産しています。

また皆さんのよく知っている「谷田のきびだんご」
はここでつくられています。
夕張鉄道が通っています。

由仁 (ゆに) アイヌ語「エウンニ」(温泉のある場所)か
らできた地名。附近で今でも鉱泉があるそうです。

古山 (ふるさん)

三川 (みかわ) 明治二十四年愛知県人加藤平五郎が、ここ
をひらき、故郷の三河にちなんで三川とよんだのが地
名のはじまりです。

追分 (おいわけ)
夕張線がここからでています。

安平 (あびら)
このあたりは「鈴らん」狩りで有名
早来 (はやきた)

遠浅 (とあさ)
アイヌ語「トワ、サ」(羊歯の原)からきた地名
沼の端 (ぬまのはた)
干歳線がここから分かれています。

苫小牧 (とまこまい) 王子製紙工場があり、全国の新聞紙の
大部分を生産している苫小牧市は、日本一の「紙の街」
といえます。人口五万四千人。製材もさかんです。
日本一といわれるスケートリンクがあります。このあ
たりから、樽前山(一〇三三m)がよく見えます。
日高線がここから出ています。

糸井 (いとい)

錦岡 (にしきおか) 樽前登山口です。この砂は建築などによく使われています。

社台 (しやだい)

白老 (しらおい) アイヌ部落があるので有名です。仙台陣

屋跡(せんだいじんやあと) もあります。

駅から西に一キロ進むと、ワラぶき小屋に昔を偲ぶアイヌ部落があります。戸数約八十戸、僅かな畑作と漁業によつて生計をたてていますが、風習は殆んど近代化しており、民族のシキタリもうすれて、昔、山野を駆け廻り、熊や鮭をとつた勇ましい民族の面影はみられません。道内最大のアイヌコタン。

萩野 (はぎの)

このあたりの山から地竹を多く産します。

竹浦 (たけうら)

虎杖浜 (こじようはま) この附近の海浜には昔から虎杖(い)たどり)が沢山あるために虎杖浜と名づけた。

登別

(のぼりべつ) この駅から八kmで登別温泉に至る。アイヌ語「ヌブルベツ」からとつたもので「にごれる川」の意味で硫黄(ゆおう)のため川がにごつているので名づけられた。帰りにはこちらから汽車に乗ります。

富浦 (とみうら)

幌別 (ほろべつ) 砂・砂利・耐火煉瓦

東室蘭 (ひがしむろらん)

輪西 (わにし) 製鉄所があります。

御崎

(みさき)

母恋

(ぼこい)

室蘭

(むろらん) 胆振支庁のある所。人口十三万五千人で北海道では最も早く大工業の発達したところで、わが国の主要会社である富士製鉄、日本製鋼所をはじめ富士セメント工場、日本石油や海運会社などがあり荷役設備がととのうにつれて倉庫や埠頭がどんどん作られ、北海道では小樽とならんでますます発展して行く港です。港も天然のめぐまれた良い港であるため外国の船はいつも入港する貿易港として荷物の荷上げ量は全道一といわれています。又石炭の積出し港として有名です。たら・いか・かれいなどがとれます。

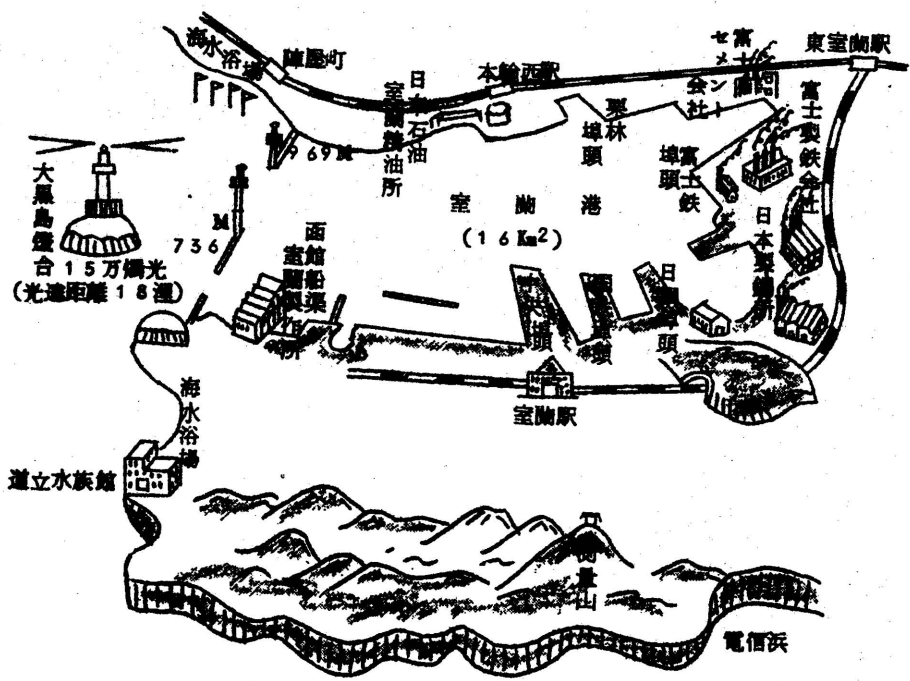
※ 埠頭

(ふとう) ここから船に乗って室蘭の港を見学し防波堤をぬけて燈台のある大黒島を右手にながめながら水族館のさん橋にむかいます。

※ 水族館

室蘭市祝津町にあり昭和二十八年六月開館され道立室蘭水族館といえます。水族館の階下には三四面の水そうと屋内海水プール、二階にはたくさんの標本がならべてあります。又外にはオットセイのいるプールや魚のいるふん水の池があります。

私達の勉強になり、おもしろいもの、なんといつても水そうの中で泳ぎまわっている魚たちです。海の中そつくりにつてある水そうの中には一五〇種もの魚や水産動物が生きております。ほつけ・にしん・たこ・かに・いか・こい・ふな・かれい・かじか・ひとで・なまこ・うに・かいなどをみていたら時のたつのを忘れることでしょう。二階には又珍しい熱帯魚が泳いでいます。(十四種) 標本は一三〇種ほどあり遠い海に棲む珍しい魚や珍しい動物の姿が見られます。



磯狩り

水族館裏の海岸でいろいろな海の生物を採集してみましよう。おもしろい貝、珍しい海そうがたくさんみつかりますね。記念になるものは持つて帰りましょう。

水族館前

いよいよ登別へ出発します。すてきなロマンスカーに乗つてガイドのお姉さんといつしよに楽しい旅をつづけましょう。歌をうたつて陽気にすごしているうちに登別に近づきます。

登別温泉

温泉を始めて拓いたのは滝本金蔵という人で今から九十年余り前のことです。

この温泉はわき出る湯の豊富なこと、温泉の種類の違いによつて日本で指おりの温泉地で北海道のほこり得るものの一つです。

温泉は海抜二〇〇mの高い所にあり、山にかこまれたすりばちのような所に温泉町があります。人口二九〇〇人でこの近くは原始林が多く天然記念物になつていて新緑や紅葉の美しいところです。

有名なかんけつ温泉は昭和二十四年三月とつぜんふき出し約三〇分おきに一〇mの高さに一、二分間ふき上げています。(今はでていないようです。)

温泉の種類は硫黄泉・カルシウム泉・食塩泉・みようばん泉・ラシウム泉・鉄泉・塩類泉・苦味泉など十種以上あります。

温泉の泉質とききめ

湯元地獄谷から湧き出る豊富な硫黄泉と明ばん泉、街のところどころから噴出する食塩泉、その他数種の温泉は、湧沸量一時間に七三六石といわれ、東洋一と称されるのも過言ではありません。

泉種(泉質)

効用

硫黄泉(白濁色酸性)

神経痛(神経痛・リウ

明ばん泉(酸性)

マチス・神経衰弱・官

ラジウム泉(弱酸性)

能性神経疾患等)

塩類硫黄泉(同)

胃腸病(栄養不良諸種

緑ばん泉(同)

疾患・急慢性胃腸カタ

カルシウム泉(中性)

ル)

鉄泉(中性)

婦人病疾患・皮膚病・

苦味泉(中性)

外傷諸疾患

食塩泉(アルカリ性)

塩類泉(弱アルカリ性)

弱塩類泉(同)

第一滝本旅館

大浴場昭和十二年完成、温泉十種、浴そう二五、湯の

滝二、総面積一五〇〇〇m²、二五mプール、客室二五

〇、宿泊人数八〇〇〜一三〇〇人

―地獄谷めぐり―

地獄谷めぐり

登別温泉で有名なものは、第一滝本館の大浴場と、もう一つ、この地獄谷です。地獄谷のできたのは約六億年前、地球の表面が爆裂したときの火口の跡だといわれています。地獄谷の入口に近づくにつれて、鼻をつくいやな臭いに気がつくでしょう。これは硫黄泉特有の硫化水素というガスで地獄谷から流れてくるものなのです。地獄谷へ入ると、各所より噴き出す温泉やガスのものすごさに驚きの目をみはることでしよう。

これらの温泉には、千畳地獄、かんけつ地獄、鉛地獄大地獄、虎地獄、龍巻地獄など、それぞれの名まえがついており、湧き出している箇所湯の温度は一〇八℃、地獄谷全体から湧き出している湯の量は、一日約

五〇〇万リットルもあります。

又地獄谷の地熱は、地下一mで九〇°Cの高温で、ときどき噴出口が移動するので、地獄谷を見学する際には足元によく注意しなければなりません。

※ 大湯沼
地獄谷から三三〇m坂道を登っていくと大湯沼があります。

周囲一km、深さ三〇m、熱い湯の沼で温度は一三一°Cといわれます。沼底から硫黄を採取しています。一月一〇〇トンもの硫黄がとれます。

大湯沼の北に日和(ひより)山、(海拔三六六m)があります。いつも頂上から噴煙を出しています。

※ 天然記念物登別原始林

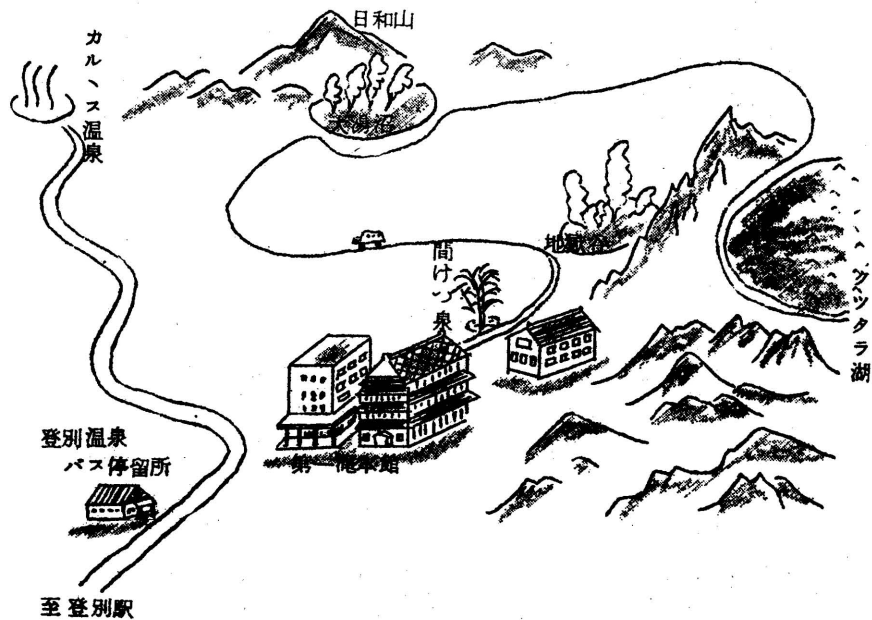
地獄谷附近海拔二〇〇mの山林にあります。

「みやこざさ」の生育は極めて良好ですし「ななかまど」「あかいたや」「ほおのき」「くり」「しらかんば」等二十種近い植物のほか「みやこざさ」「がんこうらん」「こくは」「いそつつじ」などの高山植物も見られます。

※ クツタラ湖

地獄谷から大湯沼を経て約五kmでクツタラ湖につくことができます。

クツタラ湖は注水河も排水河もない無口の火口湖で周囲約八キロ、最大水深一四六米、湖面は海拔より二八〇米の標高で青く澄みきつています。湖にはヒメマス、フナ・エビ等が棲み、釣魚に舟遊びにゆつくりと終日楽しむことができますし、又、前世紀の遺物といわれるエゾサンショウ魚も見られます。この湖面は地獄谷より高く、一説には湖水が地下水となり、温泉に変化するともいわれています。



登別温泉案内図

第二日 登別温泉から
洞爺湖温泉まで

登別 幌別 鷺別 東室蘭 本輪西 陣屋町 黄金 稀府 伊達紋別 長和 有珠 蛇田

※ 有珠岳

(あぶた) 駅前からは蛇田発電所が見られません。
洞爺湖の水を鉄管で引いた水路式発電所です。
ここで下車し、バスに乗りかえて洞爺湖温泉にむかいます。途中、峠から見える洞爺湖の展望……なんとすばらしいことでしょう。
標高七二〇m、羊蹄山の噴火により洞爺湖が陥没生成されてから後噴出した二重式活火山です。山頂に直径約四、五kmの火口をもち、その中に生長した大有珠、

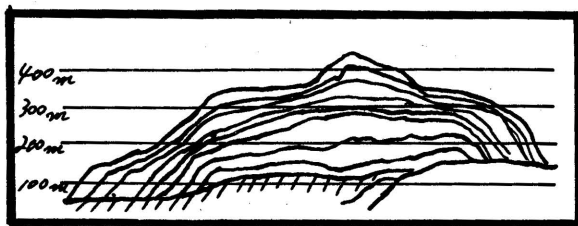
小有珠の二つの熔岩塔があります。

※ 四十三山

有珠岳の北の麓が熔岩のため盛り上つて新しい山を作つた等異な火山活動の山の頂上には展望台があります。今も大小数十箇所のですり鉢形の凹穴があり、噴煙を上げています。

※ 昭和新山

昭和十八年十二月十八日、突然地震が起り、十九年六月二十三日大爆発を起し、土地が隆起し始め、十二月噴煙の山頂から熔岩塔が現われ、昭和二十年九月二十



昭和新山 (三松ダイヤグラム)
三松先生が観測した山の成長図です。
1947年オスローの万国火山会議に提出し、賞讃された原図を写したものです。

日総海拔四〇六m、熔岩塔の高さ二十m、周井四六一mとなつて活動を停止し現在に至つています。

黄色とも赤茶ともつかぬ生々しい色を中空にさらし、もうもうと噴煙をあげている姿は、まことに興味があります。

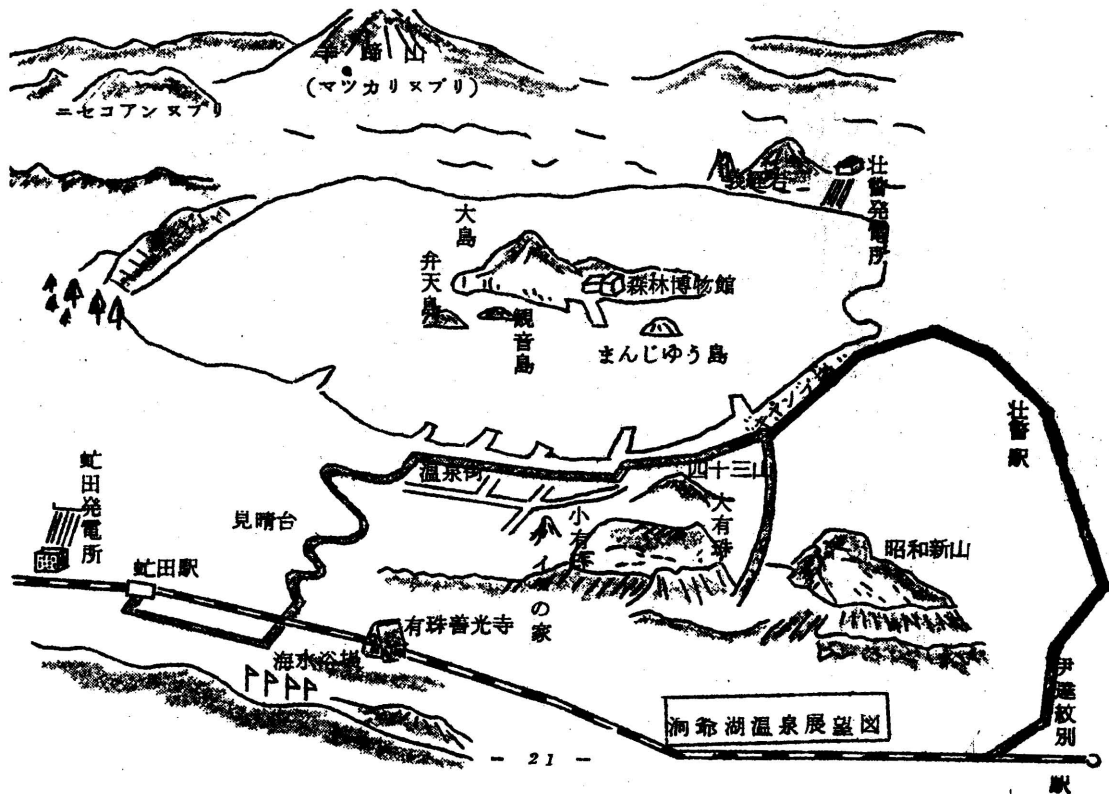
山頂のペロニーテは、昭和二十二年天然記念物に指定され、世界でも珍しい山として有名です。

※ 洞爺湖について

成 因 数十万年前、羊蹄山の噴火により地盤

がかんぼつして湖になつたものです。

海 抜 八三m



周 囲 四三km
 面 積 六三km²
 深 さ 最深一八三m (全国第六位)
 透 明 度 一七度 冬でも結氷しない。
 水 量 七・六km³
 発 電 四万kw
 中島の高さ 四五五m
 大島の面積 六km²
 洞爺湖の魚 ひめます・わかさぎ・ふな・こい・うぐい・えびなど。

※ 森林博物館

温泉から船で往復一時間のところであり、北海道の国立公園森林区図、いろいろな材木や森林にすむ鳥類動物、こん虫や高山にすむ動物など森林に関するいろいろな知識をおしえてくれます。

※ 洞爺湖温泉

有珠岳の北のふもとからわき出る無色ですき通つた弱食塩泉で温度は五十四度C、湯はたいへん豊富です。温泉に入りながら美しい湖をながめ羊蹄山を望み見る風景は他の温泉や国立公園では味わえないすばらしいものです。

神けい病・胃病・せきずい病・婦人病にききめがあります。

※ 羊蹄山

洞爺湖のむこうに見える姿のよい「えぞ富士」(マツカリヌプリ)とよばれる山です。海拔一八九三mで登山する人が多くスキーの山としてしまれています。高山植物がたくさんあつてその数は二六一種といわれています。

※ 浮見堂

洞爺湖の西湖岸の浅瀬に三重の塔があります。ここには、「聖徳太子」をまつつています。

※ 虻田発電所の水取り入れ口、洞爺湖岸の南西にあります。
虻田発電所では、洞爺湖の水を引いて電氣をおこしています。
入口には、鉄さくがしていますね。ここには弱い電氣をおして
湖の魚が、にげないようにしています。

第三日 虻田より南美唄へ

※ 洞爺湖温泉からバスで虻田駅まで行きます。

※ 虻田駅から汽車に乗って岩見沢まで。

※ バスに乗りかえて南美唄まで。

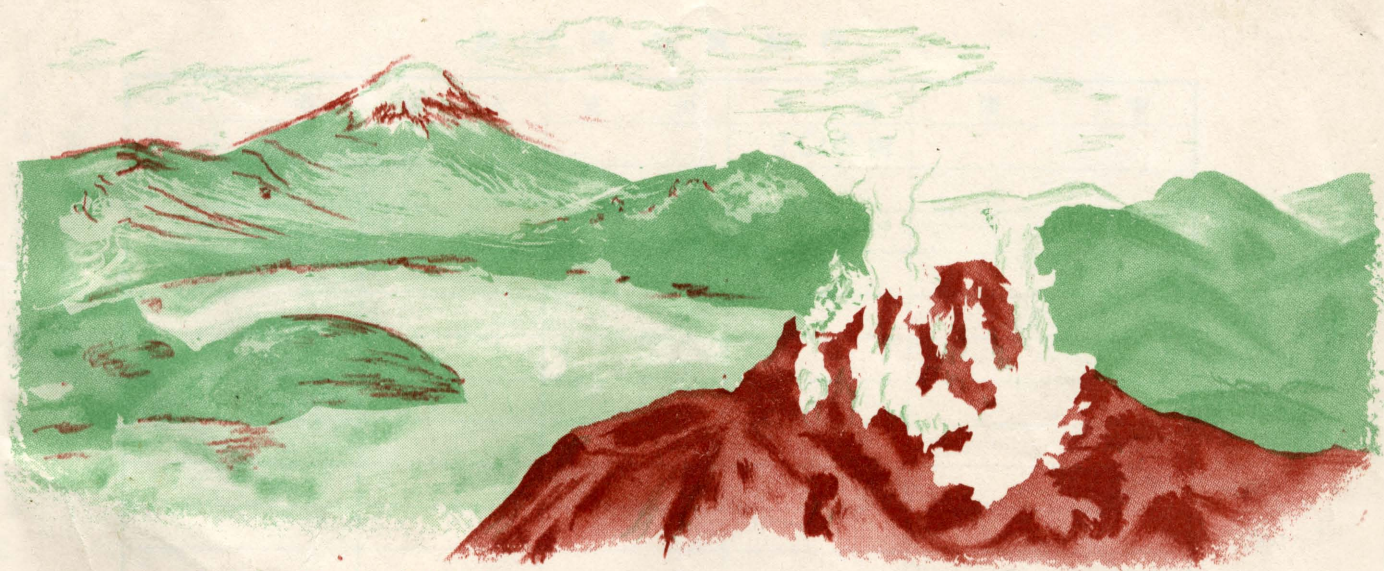
※ 南美唄 中央バスの停留所ごとにとまり、七丁目まで行きます。
楽しい修学旅行が終了しました。今日はゆつくり休んで
旅のつかれをなおしましょう。

旅行のあとをふりかえり、あれこれとたくさんある思
い出を爽さいに自分の目で、耳で、手で勉強してきた
ことをお家の人々に話してあげましょう。

楽しい旅行に出して下さったお父さんお母さんに感謝
しながら、学習してきたことがらをまとめあげこれか
らの勉強に役立てましょう。

◇◇帰宅してからの心得◇◇

- (1) 家に帰ったら、しつかり挨拶しましょう。
- (2) 三日間の長い旅行は、心身共につかれていますから、ゆつくり
休息しましょう。
- (3) おみやげ話を家族のみなさんにしましょう。
- (4) 見学したことを、きちんと整理しましょう。
楽しかったこと、つらかったこと、それらはすべて良い経験です。
- (5) 新しい気持で、これからの六年生の勉強にとりかかりましょう。



三井美唄小学校 六年

組	氏名
---	----